

議 事 要 旨

議 事 要 旨	
会 議 名	徳島県がん診療連携協議会 診療連携部会
日 時	平成26年6月5日(木) 19:00~21:00
場 所	徳島大学病院大会議室 (中央診療棟5階)
出 席 者	福森会長、金山部会長、鳥羽氏(代理)、八木委員、石倉委員、住友委員、坂東委員、林委員、漆川委員、安藤委員、藤原委員、木下委員、寺嶋委員、近藤氏(代理)、勢井委員、瀧口委員、鎌村委員、六車委員、西村委員、丹黒委員、矢野氏(代理)、福川委員、堀部委員
欠席者	山崎委員、田中委員、岡久委員
陪 席	徳島大学病院医療支援課：安部専門職員、筒井主任、宮越事務補佐員 徳島大学病院：三木外来化学療法室看護師長 県立中央病院：住友医事企画課課長補佐 徳島赤十字病院：島村医療ソーシャルワーカー 徳島市民：高尾医事課係長 徳島県鳴門病院：山田診療情報管理士 健康増進課：柴原課長補佐、山田係長、仙波主事、久保主事 徳島県立海部病院：医事課井内英二

【議題1】 各がんの診療連携の状況について

最初に、金山徳島県がん診療連携協議会 診療連携部会長(以下、金山部会長という。)司会進行のもと、徳島県がん診療連携協議会 診療連携部会が開催された。

1. 徳島県生活習慣病管理指導協議会の各がん部会より報告があった。

- ①肺がん部会：住友委員から、肺がんの術後連携パスについてはがん診療連携拠点病院では出来ており、地域の病院との連携も出来ている。
- ②乳がん部会：丹黒委員から、乳がんの専門医を増やしている。今後は専門医がいる専門病院とネットワークを作る予定である。また、「治療の記入ノート」の活用があまり進んでいないため、連携先と安心して治療を行うことで患者さんの安心にも繋がるため今後は配布を行い、周知徹底を行いたい。検診事業として、デジタル化を進めている。モニター診断のネットワークを作っており、各検診施設に画像を送り診断を行う内容で今年中に開始出来るよう準備をしているとの報告があった。
- ③胃がん部会：六車委員から、平成26年1月22日に平成25年度第2回胃がん部会が開催された。専門診療医療機関・標準診療医療機関の見直しを行った。胃がん検診実施要項の若干の改正を行った。胃がんの治療の記録ノートも作成され各施設に配布を行い、運用を開始したとの報告があった。
- ④肝がん部会：矢野代理から、専門診療医療機関、標準診療医療機関の選定と選定基準の改定を行った。肝がん部会では研修も行っている。また術後の連携パスを使用した治療の記録ノートの運用はあまり動いていないとの報告があった。
- ⑤子宮がん部会：西村委員から、治療の記録ノートはまだ活用出来ていない。治療の記録ノートも日々の診療が忙しく使用出来ていないのが現状であるが、今後は普及させていきたいとの報告があった。
- ⑥前立腺がん：金山部会長から、前立腺がんに関してはまだ部会がない。治療の記録ノートも作成して使用していることから、今後は部会も作っていただきたいとの要望があった。

金山部会長から、治療の記録ノートについて5大がんと食道がん・前立腺がんで8種類の手帳の作成が出来ているため、使用していただきたい。また、各がんの専門診療医療機関、標準診療医療機関

のがん医療体制を作成して患者さんにも案内を行っていききたいとの要望があった。

【議題2】 各拠点病院における地域連携クリティカルパスの活用状況、手帳の運用状況について

各拠点病院から、別紙資料2に基づき連携保険医療機関届出施設数とがん治療連携策定料加算件数の報告があった。

- ①徳島大学病院鳥羽氏から、連携保険医療機関届出施設数は肺がん 63 件（うち県外 3 件）、胃がん 93 件、大腸がん 94 件、肝がん 91 件、乳がん 108 件（うち県外 10 件）、婦人科がん 35 件（うち県外 1 件）、前立腺がん 35 件（うち県外 4 件）である。がん治療連携策定料加算件数平成 25 年度は毎月数件行っている。治療の記録ノート配布状況も平成 25 年度は毎月各がん腫で配布を行っているとの報告があった。
- ②徳島赤十字病院石倉委員から、連携保険医療機関届出施設数肺がん49件、胃がん90件、大腸がん69件である。がん治療連携策定料加算件数は胃がん・大腸がん・肺がんの算定となっている。治療の記録ノート配布については、肺がん・婦人科がん・乳がん・肝がん・前立腺がん・食道がんとも各10冊程度対象となる患者へ主治医から配布を行った。少ない原因としては院内のコンセンサスが得られていないことや認知されていないことなどであるとの報告があった。
- ③徳島県立中央病院八木委員から、がん治療連携策定料加算件数平成25年度は肺がん4件、大腸がん2件、胃がん1件であった。要件など満たして、3つのがんに関しては運用が出来るようになった。治療の記録ノートの配布は出来ていない。肺がんパスについてもスケジュールと違い混乱するおそれがあるため、配布を行っていないとの報告があった。

金山部会長から、治療の記録ノートのパスは病院により経過観察や検査により内容が若干異なる場合があるため、統一するのが難しいかもしれないとの意見があった。
- ④徳島市民病院高尾医事課係長から、がん治療連携策定料加算件数は平成22年度1件、平成23年度1件を行ってから算定していない。連携保険医療機関届出施設数は胃がん105件、乳がん73件、大腸がん105件、肝がん96件、肺がん99件である。治療の記録ノートに関しても肺がん10冊、乳がん20冊、食道がん2冊であったとの報告があった。
- ⑤阿南共栄病院安藤委員から、連携保険医療機関届出施設数は乳がん23件、肺がん42件、大腸がん41件であるが、運用が出来ていないためがん治療連携策定料加算も出来ていない。治療の記録ノートの配布は平成25年度乳がん2冊であった。医局会で配布の周知を行ったためこれから配布を行う予定であるとの報告があった。
- ⑥徳島県鳴門病院漆川委員から、がん治療連携策定料加算はなかった。治療の記録ノートについては、連携室に置いているが患者に渡してリンパ浮腫の説明などにしか使用してなく、連携としての配布は出来ていないとの報告があった。

金山部会長から、徳島県としての病院となるため、連携できる体制をしていただきたいとの要望があった。
- ⑦徳島県立三好病院住友委員から、がん治療連携策定料加算件数、連携保険医療機関届出施設数についても体制が出来ていない。治療の記録ノートの配布も出来ていない。今後は体制を整えて進めていききたいとの報告があった。なお、がん医療体制の肺がんの標準診療医療機関について手術療法を当院に○を入れていただきたいとの要望があった。

金山部会長から、徳島県地域がん診療連携推進病院のため連携に対しても充実させていただきたいとの要望があった。
- ⑧徳島県立海部病院坂東委員から、がんの手術をほとんど行っていない。また専門外来として他院から医師に診療に来ていただいているため、連携をしているというよりはフォローをしていただいている。

また、その医師の病院で診ていただいているのが現状であるとの報告があった。

金山部会長から、県南の拠点となるためがん診療連携拠点病院等から医師の派遣も行っている。拠点病院に患者を紹介していただき、術後に連携して徳島県立海部病院に返すのが患者のためにもなるため充実させていただきたいとの要望があった。

- ⑨麻植協同病院林委員から、がん診療連携指導料については徳島大学病院から肺がんで3名、乳がんで1名計4名が連携されている。治療の記録ノート配布については、ほとんど利用出来ていないとの報告があった。

金山部会長から、麻植協同病院と徳島県立三好病院は西部地区の拠点病院となるため、積極的に連携を進めていただきたいとの要望があった。

- ⑩阿波病院藤原委員から、大学病院、県立中央病院から患者の連携をしていただいている。来年、麻植協同病院が新しく建て替えられるため、今後についてはどうなるかわからないとの報告があった。

金山部会長から、地域の診療所などと密な連携をしていただければとの要望があった。

勢井委員から、丹黒委員からデジタル化が進んでいるとの発言があったが、電子ファイル化が出来ていて、病院間での治療の経過など受け渡しができる状況なのかとの質問があった。

丹黒委員から、デジタル化とは今までフィルムで診療していたのをモニターで遠隔診断を行うようネットワークを繋げて出来ることであるとの回答があった。また、治療の記録ノートの配布について、ネットワークで繋がれば受け渡しも簡易になるが、現在は患者に手渡すことで安心していただけるため、配布を行っていただきたいとの依頼があった。

金山部会長から、徳島県としてはネットワークについても計画があるのかとの質問があった。

住友委員から、西部地域はネットでつながっているとの発言があった。

鎌村委員から、徳島県西部では徳島県立三好病院、町立半田病院、ホウエツ病院などがネットで繋がっている。また、医師会の医師なども診られるよう導入を行っているとの補足があった。

島村医療ソーシャルワーカーから、徳島赤十字病院ではID-Linkを導入しており当院の電子カルテや画像などの診療情報を、かかりつけの医療機関で閲覧することができるネットワークシステムである。すでに南部地域では導入されており、東部地域についても説明会を行ったとの説明があった。

金山部会長から、徳島赤十字病院と地域の病院とをどのように結んでいるのかとの質問があった。

島村医療ソーシャルワーカーから、詳しくは当院の医療情報課で行っているため、問い合わせさせていただくか当院のホームページを閲覧いただきたいとの回答があった。

【議題3】徳島県がん診療連携セミナー市民公開講座開催について

金山部会長から、別紙資料3に基づき下記のとおり説明があった。

- ①今までは医療従事者対象に連携についてセミナーを開催した。今回は一般の市民、県民の方に対して診療連携について周知出来るよう市民公開講座を行いたい。
- ②タイトルとしては（案）「がんの診療連携と相談支援～患者さんの安心のために～」で行いたい。具体的な内容としては基調講演、肺がん・胃がん・大腸がん・肝がん・乳がん・子宮がん・前立腺がんの講演と相談支援・情報提供と緩和医療・在宅支援、患者会も加えた内容で行いたい。
- ③会場は徳島大学大塚講堂が650名収容可能なため使用したい。
- ④日程については平成26年9月または10月頃の日曜日午後を予定している。

金山部会長から、以上の提案で計画を進めてもよいかとの伺いがあり、出席委員で検討の結果、了承された。

続けて金山部会長から、内容については各がん部会長に講師依頼を行いたい。なお、日程については早急に日程を決定したい。また、開催が決まれば各病院にも広報等の協力をお願いしたいとの要望があった。

【議題4】その他

島村医療ソーシャルワーカーから、先ほどの発言について補足を行いたい。ID-Linkについて、インターネット環境で閲覧するためのPCが必要である。なお、患者の診療情報を守るため、接続にはインターネットVPNを利用してセキュリティ回線を使用していただく必要がある。初期費用84000円、月額980円となっている。なお、閲覧には患者、家族等の同意が必要である。詳しくは当院のホームページを見ていただくか問い合わせさせていただきたいとの説明があった。

続けて島村医療ソーシャルワーカーから、がん医療体制専門診療の肝がんについて当院は平成23年3月31日外科医師の異動に伴い専門医師が不在となったことから専門診療から標準診療になった報告を病院長から行っている。平成25年6月1日現在では専門診療と明記されているが、復帰したのか。また、医療圏が東部となっているとのことについて当院の副院長から質問するよう指示があったとの報告があった。

山田健康増進課係長から、専門診療病院に復帰になった。また医療圏については南部の間違いであるため訂正を行いたいとの回答があった。

堀部委員から、徳島県民がんフォーラムに時間的な余裕があるのであれば周術期について入れていただきたいとの要望があった。

金山部会長から、今回は時間的に難しいのではないかと、次回の開催時に計画を行いたいとの回答があった。

鎌村委員から、治療の記録ノートについては各がんの作成を行い前回での会議でも活用を行っていただく要望をさせていただいたが活用できていない状況である。平成25年度末に胃がん・大腸がんの治療の記録ノートも出来上がり揃った。患者のためにも活用いただき、広げていただきたいとの要望があった。

金山部会長から、外来での記載は診療が煩雑で大変であるが、徳島県がん診療連携協議会診療連携部会委員から、ぜひ活用をしていただきたいとの意見があった。

丹黒委員から、基本情報の1ページを記入し、その他は随時相互で記入していけばいい。そんなに複雑ではないため、配布を行っていただきたいとの要望があった。

金山部会長から、ぜひ普及をさせていただきたいとの要望があり閉会となった。